

平成25年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	市民協働のまちづくり推進事業		担当部署	市民環境部 市民協働推進課	
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市自治基本条例 市民との協働のまちづくり行政行動指針	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="23"/> 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと			終期
(小項目)		市民参画・市民協働			
施策	1	市民参画・市民協働の推進			
基本事業	3	協働によるまちづくりの推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民等、行政						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	自治基本条例に掲げる市民が主役のまちづくりの実現に向けて、市民等と市が、適切な役割分担のもと、互いに補い合いながら協働事業に取り組む。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		市民等との協働事業数	90	100	105	110	115	事業

◎実施結果(DO)

事業実施内容	24年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行ったのか	自治基本条例の理念や内容を、広く市民に周知するために広報での連載を継続したほか、条例をわかりやすく説明したパンフレットを作成した。また、市民協働推進本部(庁内組織)を開催し、市民協働の推進に向けた環境づくりに取り組むとともに、「自治基本条例と協働のまちづくり行政行動指針研修月間」を設け、条例の理解促進と行政行動指針に基づく取組の実践に向けて、全職員を対象に職場内研修を実施した。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
		指標名	23年度実績	24年度実績	25年度目標	26年度目標	27年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	まちづくり講演会開催回数	1	1	1	1	1	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		市民等との協働事業数	98	111	—	—	—	事業
		目標達成率(実績/目標)		111.0	—	—	—	%

コスト分析		23年度実績	24年度実績	25年度	26年度	27年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	178	354	20	20	20	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	178	354	20	20		20
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		8,000	8,672	8,672	8,672	8,672	人	
人件費内訳	正規職員(6,721千円/人)	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2		
	臨時職員等(2,023千円/人)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3		
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		8,178	9,026	8,692	8,692	8,692	千円	

【事務事業名：市民協働のまちづくり推進事業】

◎平成25年の実施状況(DO)

現在の実施状況	自治基本条例に掲げる「市民等が主役のまちづくりの実現」を目指し、市民協働を推進するために、引き続き、市民に条例や協働事例の周知を行う。これからのまちづくりの担い手となる子ども達にも自治基本条例を知ってもらえるよう、小学6年生の授業での条例パンフレットの活用を進める。また、市民協働推進本部の開催や職場内研修を通じて、市職員の意識改革を進め、市民との協働事業が拡充していく環境を整えていく。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	自治基本条例に掲げる協働のまちづくりを推進するため、意識啓発や環境づくりなど継続した取り組みが必要となる。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 市民参画・市民協働の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	市民協働を推進するためには、市民に条例の周知を図るとともに、職員一人ひとりが意識改革に努めて行政が変わる必要がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	/10	<input type="checkbox"/>		⑤ 効率性向上の余地はない。

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				